令和5(2023)年度 かながわ移行期医療支援センター医療講演会

臓器（領域）別・疾患別からみたトランジション

ー共通点と相違点ー

2/7 2024 Wed.

13:00 - 15:00（開場12:30）

開催方法：**ハイブリット**形式

現地開催（横浜新都市ビル そごう横浜店 9階 新都市ホール ミーティングルームA）

+ Zoomによるオンライン開催

横浜市西区高島2-18-1 横浜駅(東口地下街経由直結)徒歩5分

対　象　者：成人移行支援に携わる医療従事者 行政関係者

＊登録期間　**2023/12/1 ～ 2024/1/25**

＊登録URL　https://www.kanagawa-nanbyo.com/ext/kouen.php

＊参加登録が完了した方へ　2024/1/30 にZoom用URLをお知らせします

＊お問合せ：かながわ移行期医療支援センター

ikouki-shien@kanagawa-nanbyo.com　TEL 045-312-1121

登録はこちら

座長　今井 富裕　かながわ移行期医療支援センター センター長　（敬称略）

Session1

13:10 – 13:30　**小児腎臓領域からみた移行期医療**

北里大学医学部小児科学教授

北里大学病院副院長（教育・研究・倫理担当）　周産母子成育医療センター長

石倉 健司

13:30 – 13:50　**成人移行における小児診療科と成人診療科の連携体制の整備**

ー小児腎疾患の移行プログラムの作成ー

北里大学病院医学部腎臓内科 医師　**阿部 哲也**

Session2

13:50 – 14:10　**小児科領域からみたAYAがん患者の成人移行支援について**

横浜市立大学附属病院小児科 医師　**吉富 誠弘**

14:10 – 14:25　**整形外科からみたAYAがん患者の長期フォローアップ**

横浜市立大学附属病院整形外科 医師　**竹山 昌伸**

14:25 – 14:40　**AYA世代の脳腫瘍患者　～脳外科医の立場から～**

横浜市立大学附属病院脳外科 医師　**末永 潤**

Session3

14:40 – 15:00　**総合討論**

15:00　**閉会のあいさつ**

Kanagawa Transitional Medical Support Center

登壇

Session1

石倉健司　北里大学医学部小児科学教授

1993年,慶応義塾大学医学部卒。同小児科、東京都立清瀬小児病院小児科医長、東京都立小児総合医療センター小児科医長、国立成育医療研究センター腎臓・リウマチ・膠原病科診 療部長を経て 2019 年より北里大学医学部小児科学教授、北里大学病院小児科長、2021年 北里大学病院副院長（教育・研究・倫理担当）を兼務、2022年同院周産母子成育医療センター長（兼務）、現在に至る。主な所属学会および役職は、IPNA(国際小児腎臓学会) Councillor・日本小児腎臓病学会 理事総務委員会委員長、小児 CKD 対策委員会スーパーバイザー・日本腎臓学会 評議員など。

Session1

阿部哲也　北里大学病院医学部腎臓内科 医師

2013年、北里大学医学部卒業後、北里大学病院腎臓内科、町田市民病院腎臓内科、名古屋第二赤十字病院移植外科勤務。2023年より北里大学大学院医療系研究科腎臓内科所属。
総合内科専門医、腎臓専門医、腎移植専門医、透析専門医として内科診療並びに慢性腎臓病保存期管理から腎代替療法(透析・移植)の臨床を専門医としている。また臨床業務に加えて現在は医学生の指導や、腎臓病に関わる基礎研究を行っている。

Session2

吉富誠弘　横浜市立大学附属病院小児科 医師

2011年、福島県立医科大学卒業後、横浜南共済病院での初期研修を経て、2013年に横浜市立大学小児科に入局。その後、横浜市立大学附属病院等での勤務を経て、現在は横浜市立大学大学院医学研究科医科学専攻、発生成育小児医療学にて大学院生として研究に従事。また横浜市立大学附属病院にて長期フォローアップ外来を主に担当している。専門は小児科学、小児血液腫瘍学。

Session2

竹山昌伸　横浜市立大学附属病院整形外科 医師

1997年、横浜市立大学医学部卒業、2002年横浜市立大学大学院修了（整形外科学）。同年より神奈川県立がんセンターに赴任し骨軟部腫瘍診療に携わる。2019年より現職となり、骨軟部腫瘍の研究・教育・実践に従事している。専門は、整形外科学、骨軟部腫瘍であり日本サルコーマ治療研究会では評議員を勤める。現在院内で臨床倫理コンサルティングチームとして臨床における倫理的問題の解決支援も行っている。

Session2

末永　潤　横浜市立大学附属病院脳外科 医師

2000年、横浜市立大学医学部卒業後、横浜市立大学附属病院などで初期研修医勤務。2002年、横浜市立大学脳神経外科学教室に入局。2006年、横浜市立大学大学院修了(脳神経外科学)。神奈川県立こども医療センターや横浜労災病院　脳神経外科で勤務し、2011年から横浜市立大学脳神経外科 助教。2013年から2年間、アメリカピッツバーグ大学で脳虚血に関する研究を行い、帰国後の2016年より現職の大学講師。専門は脳腫瘍、頭蓋底腫瘍、小児脳神経の臨床・手術および、脳虚血、再生研究など多岐に渡り、研究・教育・臨床に従事している。

座長・対談

今井富裕　独立行政法人国立病院機構箱根病院　院長
かながわ移行期医療支援センター　センター長

2022年より、箱根病院院長として着任。免疫性神経筋疾患の診断と治療を中心に、難治性の神経筋疾患全般の診療を行っている。
かながわ難病相談・支援センター　センター長
かながわ難病情報連携センター　センター長